

## 【講演録】

# 定性的方法論に関する講演会の概要

藤 田 健

本稿は、山口大学大学院経済学研究科の留学生を対象にした定性的方法論に関する講演会の概要を紹介する。本講演会は留学生の研究水準の向上を目的として、2016年12月2日に山口大学経済学部第1会議室で開催された。

講師には立正大学経営学部教授 畢 滔滔先生をお招きした。畢滔滔先生は中国から日本に留学され、一橋大学大学院商学研究科博士後期課程で博士（商学）の学位を取得された。現在は商業学・流通論の研究者として商店街や地域活性化の研究を行い、国内外で広く活躍されている。こうしたご経験を踏まえ、「留学生のための定性的方法論：事例研究の魅力」という演題でご講演頂いた。

畢滔滔先生の講演内容は、おもに①ご自身の研究内容を振り返りながら、どのように事例研究を進めたのかを紹介すること、②インタビューの方法と事例研究の魅力を伝えることであった。講演会には、経済学部教員・大学院生約10名が参加し、講演を拝聴した。講演後は、畢滔滔先生と参加者のあいだで事例研究の進め方について活発な議論が交わされた。

以下に、畢滔滔先生のご講演内容をまとめた「講演録」を掲載しておく。今後、経済学研究科留学生の研究水準を向上させるために、本講演録をご活用頂きたい。なお、本講演会は、2016年度部局長裁量経費「大学院渡日前入試入学者に対する基礎教育拡充プロジェクト」の支援を受けて実施した。記して感謝する。